

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 ドゥシャンベ市第10中央クリニック医療機材整備計画

平成28年2月4日、「ドゥシャンベ市第10中央クリニック医療機材整備計画」の計画完了を記念する供与式が開かれ、田村書記官、第10中央クリニック院長、ドゥシャンベ市保健局副局长、ドゥシャンベ市シノ地区副区长、並びに病院関係者が参席しました。

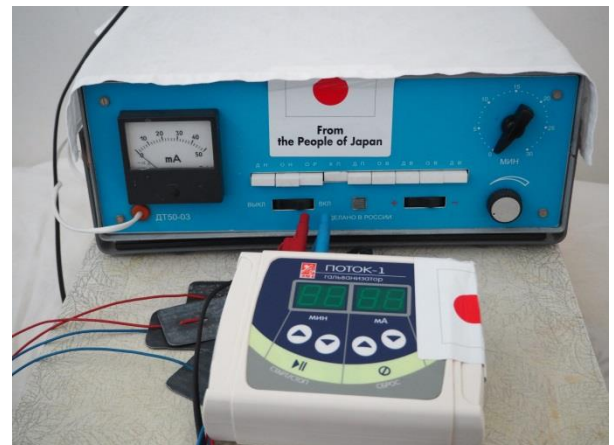
本計画対象のドゥシャンベ市第10クリニックは首都ドゥシャンベ市シノ地区に位置する、同市最大規模のクリニックで、年間累計12万人以上の患者が受診します。

しかし、1983年に設立された同クリニックで使用されている医療機材は、設立当初から使用され続けているものが殆どで、機材の故障や経年劣化により診察・治療可能な疾患が限られ、正確な診断も難しい状況でした。

今般本計画実施に伴い、生化学分析装置、脳波計、紫外線治療器など計12種類の医療機材が整備されたことにより、診察可能な疾患が増え、より多くの患者に対して正確な医療を提供できるようになりました。供与した医療機材の視察中、普段クリニックを利用しているシノ地区在住の男性より、日本の支援に対し大きな感謝が述べられるという一幕もありました。



蜂蜜とパンによる、タジキスタンの伝統的な歓迎を受ける田村書記官。



本計画により供与されたジアジナミー電気療法機器。



脳波計で脳派を検査している様子。



クリニックの医師より、医療機材及びタジキスタンの医療状況についての説明がありました。